

## 西置賜地区中学校体育大会を終えて ONE TEAM～限界を超えて～



職員玄関のあやめ

西置賜地区中学校体育大会は一部に雨天順延など日程変更がありました、予定された6月19日、20日に開催することができました。まず、皆さんが感染症防止に努め安全安心に大会が実施されたことを喜びたいと思います。ご理解とご協力ありがとうございました。

優勝したチームや個人の皆さん、県大会出場の皆さん、おめでとうございます。

6月23日(水)の大会報告会でのあいさつを紹介し、選手や応援の生徒の健闘を称えます。

☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆

壮行式の激励あいさつで、大会では次の3つに力を入れてほしいと話をしました。

- 部活動や地区大会ができる幸せを感じながら、ONE TEAMで「今できる」最高のプレー・パフォーマンスをする。
- みんなの思い、先輩の思いをチームの力にする
- 感謝の心と「みそあじうまいよ」を大事にする



そのことを踏まえて話をします。

1つ目は、各部長の大会報告や多くの顧問の先生の話から、すべての会場で熱き試合が展開され、試合を重ねるごとに、チームが一つになり、自信をもったプレー・パフォーマンスをすることができたことがわかりました。拍手による応援のスタイルも確立してきました。今できる最高の力を発揮したと信じています。それだけに、南中すべてのチームに勝たせたいし、南中生すべての選手に勝たせてあげたかったという思いです。

しかし、どんな試合でも必ず、勝者と敗者が出ます。勝者はおごらず相手を称え、敗者は負けを認める。お互いをリスペクトする。試合の結果が、戦い方や今までの取り組みの価値を決めるわけではありません。どのチームも精一杯プレー・応援したことに胸を張ってほしい。

みんなの思いを一つにした「ONE TEAM チーム南中」としてのまとまりは、長井南中学校の伝統に更なる磨きをかけたと思います。ともに活動した仲間、相手チーム、指導いただいたコーチ・顧問、励まし支援してくれた保護者に感謝したいと思います。また、これまでの3年生のリーダーシップに感謝します。がんばりました。

2つ目は、この大会で身に付けた力をぜひ、次につないでほしいと思います。「次につなぐ」とは、県大会に出場する選手は、学校代表、地区の代表としての誇りと自信を持って大会に臨むことです。そして、1、2年生も含めて、次の大会に向けて「心・技・体」を一層

